

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 7 月 24 日 (2014.7.24)

【公開番号】特開 2013-3215 (P2013-3215A)
 【公開日】平成 25 年 1 月 7 日 (2013.1.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-001
 【出願番号】特願 2011-131546 (P2011-131546)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 13/18 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/238 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 13/18

G 0 3 B 17/18 Z

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/238 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 6 日 (2014.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

【図 1】本発明の実施例でのカメラにおける連続測光中の液晶駆動タイミングを説明するタイミングチャート。

【図 2】実施例のカメラにおける連続撮影中の液晶駆動タイミングを説明するタイミングチャート。

【図 3】実施例のカメラの光学的構成を示すブロック図。

【図 4】実施例のカメラの電氣的構成を示すブロック図。

【図 5】実施例のカメラにおけるファインダ視野を示す図。

【図 6】実施例のカメラにおける撮影シーケンスを示すフローチャート。

【図 7】実施例のカメラにおける液晶駆動シーケンスを示すフローチャート。

【図 8】実施例のカメラに用いられる P N 液晶表示素子の動作原理を説明する図。

【図 9】上記 P N 液晶表示素子の液晶応答性と透過率の変化を示す図。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

ステップ S 2 0 8 にて液晶表示キャラクタ部の表示 O N 制御、すなわち図 8 に示す電極 L 2 に対する通電 O F F により、該液晶表示キャラクタ部は透過状態から非透過状態となってファインダ視野内で視認可能となる。次に、カメラコントローラ 1 0 1 は、ステップ S 3 0 3 にて、温度センサ 1 3 0 a を通じてカメラの内部温度を示す温度情報を取得し、該内部温度が所定温度である 0 以下か否か (0 より低いかな否か) を判定する。0 以

下である場合はステップ S 3 0 4 に進み、0 より高い場合はステップ S 3 0 5 に進む。